

かんがえるって おもしろい!

がくしゅう ひかりのくに もっとしりたい!

5領域
10の姿
との関わり

人
環
言
3
6
8
9

今日の活動のねらい

- ★しりとり楽しさを味わう
- ★言葉を探したり話したりすることに
興味・関心を持つ

活動時間

30分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 5月号
p.14~19

言葉

しりとりで あそぼう!



活動の内容と流れ

繰り返し確認し、楽しみながらしりとり遊び方を理解できるようにする

保育者の本をみんなで見ると

→しりとりを全員が理解できるように何回も繰り返す

→言葉のおしりの音と頭の音で言葉をつなげていけるように声に出し、
気付けるようにする

→シールのページでは全てみんなで作るのではなく、いくつか
一緒に考えたあと、自分でやってみるようになる



保育者の ◆環境づくりと ○援助

◆
子どもたちの話しやすい
雰囲気を作り、保育者も一緒に
活動する

○
時間があるときにしりとり遊びを
するようにする
(遠足に行くバスの中など)



◆
声に出してみたり黒板に文字を
書いてみたりして子どもたちが
理解しやすいよう工夫する

◆
グループでどれくらいしりとりを
長くつなげられるか競争するなど
遊びを取り入れる

○
慣れてきたら「幼稚園の中
にあるもの」「動物」など限定して
遊んでみる

活動後、振り返りのポイント

- ★たくさんの言葉が出てきたか
- ★自分から言葉を探し発言しようとしているか
- ★しりとり遊び方を理解し活動しているか

今日の活動のねらい

- ★気持ちを表す言葉に触れ、表現を豊かにする
- ★表情を読み取り相手の思いに気付く

活動時間

20分

タイミング

午後

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 5月号
p.20-21

気持ちを言葉に
こまるって どんな きもち?



活動の内容と流れ

絵を読み取りいろんな「困る」気持ちに気づき、クラスで話し合う

各自絵本を見て絵の読み取りをする

→イラストを見ながらたくさんの人が困っていると気付く

→この人を見て!と指し棒などで注目させ、何に困っているか問いかける

まずはクラス全体で話し合う

→話し合いの方がわかったら二人組で話し合い、発表する

→周りの人の気持ちにも触れていく



保育者の◆環境づくりと ○援助

○
困っているときはどんな気持ち?と
ゆっくり一人ひとり見ながら
子どもたちの思いを引き出す

◆
二人組やグループで話し合った
ことを発表する場を作る



◆
話のしやすい環境を整え、
困ったという思いを
表現することへのマイナスな
感情が生まれないようにする

○
言葉を伝えたり読み上げたりして
いく中で、言葉を口に出すことの
大切さを知ることができるよう
声をかける

活動後、振り返りのポイント

- ★自分の生活と結びつけ、どうすればよいか考えることができたか
- ★相手がなぜ困っているのかに目を向けて考えることができていくか

今日の活動のねらい

- ★お米ができるまでの様子に興味を持つ
- ★身近な人のお仕事に気づき感謝の気持ちを育む

活動時間

15分

タイミング
お昼ごはんの前

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 5月号
p.2~13

社会のお話
おこめが できるまで
パパの たんぼ・はる



活動の内容と流れ

お話や絵の読み取りを楽しみながら農家さんへの感謝の気持ちを育む

保育者の絵本をクラスで見ながらお話を読む

→絵の細部にも注目し気付いたことを共有する

→草刈りの大変さなどを想像し感謝の気持ちを持てるようにする

→近くに環境があればたんぼを見に行く



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
お米ができるまでについて
想像して話し、
お話に入りやすいようにする

○
絵の読み取りで気付いたことを
たくさん発表してもらい、肯定し
意見を言ったり聞いたりすることを
楽しめるようにする



◆
絵本に出てきた生き物を調べたり
できるように図鑑を用意しておく

○
昼食時に絵本のお話を
思い出せるよう言葉をかける

活動後、振り返りのポイント

- ★友達と一緒に話を聞いたり絵を読み取ったりすることを楽しんでいたか
- ★農家さんに感謝の気持ちを持てたか
- ★ごはんを大事に食べようとする姿勢があったか

今日の活動のねらい

- ★自分の体に興味を持つ
- ★主体的に考え調べ活動などを楽しむ

活動時間
30分
タイミング
自由遊び前

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 5月号
p.22~31

自然・科学
からだの なかは
どう なってる!?



活動の内容と流れ

自分の体に興味を持てるよう楽しみながら考える

- 絵本のように体の固いところを触って何があるか考える
- しかけをめくりながら、骨がある理由を二人組になって考えてみる
- 最後のページまで読み終わったら他に体のどんなところが不思議かクラスで共有する
- 体の不思議について調べてみる



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
体を動かせるよう
あらかじめスペースを
とっておく

◆
体の図鑑などを用意し
子どもたちが
調べられるようにしておく



○
友達と考えるよう促し、
楽しみながら自分の体について
興味を持てるようにする

○
小グループを作り、体の不思議な
ところについて話し合いやすい
ようにする

活動後、振り返りのポイント

- ★自分の体を大事にしようとする気持ちが芽生えたか
- ★友達と一緒に考えることを楽しめていたか
- ★主体性を持って考えたり調べたりできたか

今日の活動のねらい

- ★5が「1と4」「2と3」「3と2」「4と1」から構成されていることに気付く
- ★考えたり数えたりすることを楽しむ

活動時間

30分

タイミング

午後

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 5月号
p.32~39

数
かしわもちを つくろう!



活動の内容と流れ

丁寧に理解度を確認しながら読み進め、身の回りのもので理解を深める
絵本を読み5までの数の認識を確認する

- 絵を見て言葉のやりとりも楽しみながらシールを貼って理解度を見る
- 黒板で磁石を使ったり身近にあるものを使ったりしながらさらに5の構成を確認していく
- ままごとのおもちゃなどを使って「何個足りない?」クイズをする



保育者の◆環境づくりと ○援助

○
声に出し数を数えることで
一人ひとりが理解し進めて
いけるよう導く

○
普段から数に意識が向くように
「いくつある?」と声をかける



◆
磁石やお手玉など身近にあるもの、
もしくはままごとのお皿を5枚、
具材を5個用意しておく

◆
子どもたちが自分で動かしながら
確認できるように5個のものを
遊びの時間に置いておく

活動後、振り返りのポイント

- ★楽しみながら活動に参加し数に親しみを持つことができたか
- ★5の構成に気付き分けたり足したりすることの理解ができたか
- ★自分から考えて発言したり動いたりすることができたか